

# 1

## 東紀州地域が近くなります。

津市から尾鷲市間では、今回開通する紀勢自動車道の大宮大台IC～紀勢大内山IC間を利用した場合、国道42号を利用した場合と比較して、時間で約10分、走行距離で約4kmの短縮となり、津方面と東紀州地域が近くなり、利便性の向上に大きく貢献します。

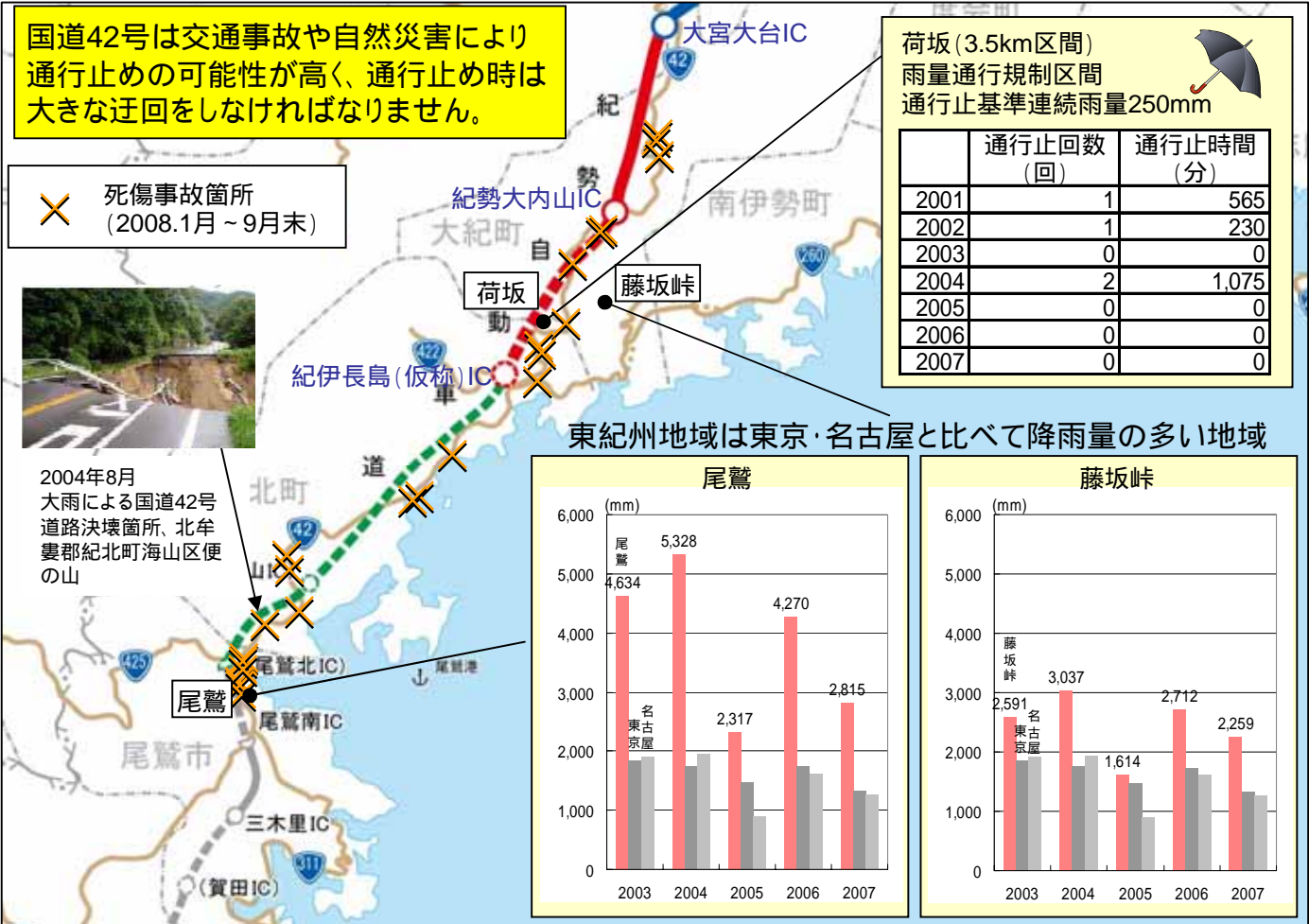
**約10分、約4kmの短縮**



所要時間の算定：高速道路の規制速度及び道路時刻表(07～08)をもとに算出  
東紀州地域とは、紀北町、尾鷲市、熊野市、御浜町、紀宝町の5市町をいう。

交通事故や地震などの自然災害の発生に伴う、一般道通行止め時の備えが必要です。紀勢自動車道は国道42号の代替路として機能します。

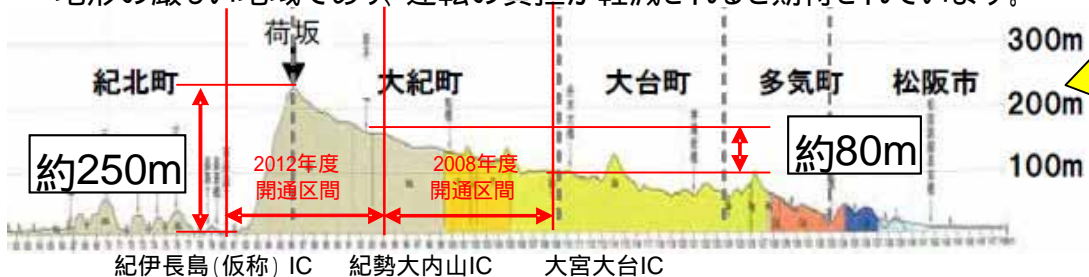
交通事故箇所及び沿線地域の降雨量と雨量規制区間の状況



出典: 交通事故データ(三重県警察本部版交通事故マップより作成)、  
降雨量(気象庁データ)、雨量通行規制区間(中部地方整備局紀勢国道事務所資料より作成)

国道42号の高低差

地形の厳しい地域であり、運転の負担が軽減されると期待されています。



東京方面と東紀州地域との都市間バスの運転手によると、東紀州地域の道路は峠やカーブが多く、運転の負担が大きいとのこと。(バス事業者)

出典: 中部地方整備局紀勢国道事務所資料より作成

地域の声

国道42号が通行止になる状況では迂回ルートや鉄道も同様に通行止となり、日常生活や産業流通面への影響は大きいと感じます。(地元観光関係者)  
 国道42号の通行止めは、出荷できなくなることに加え、当社の前を通っている国道311号も通行止めになってしまうため、会社自体も休みにせざるを得ません。(地元企業)  
 国道が通行止めになると運休や折り返し運転を余儀なくされ、リスクがとても高いです。(バス事業者)

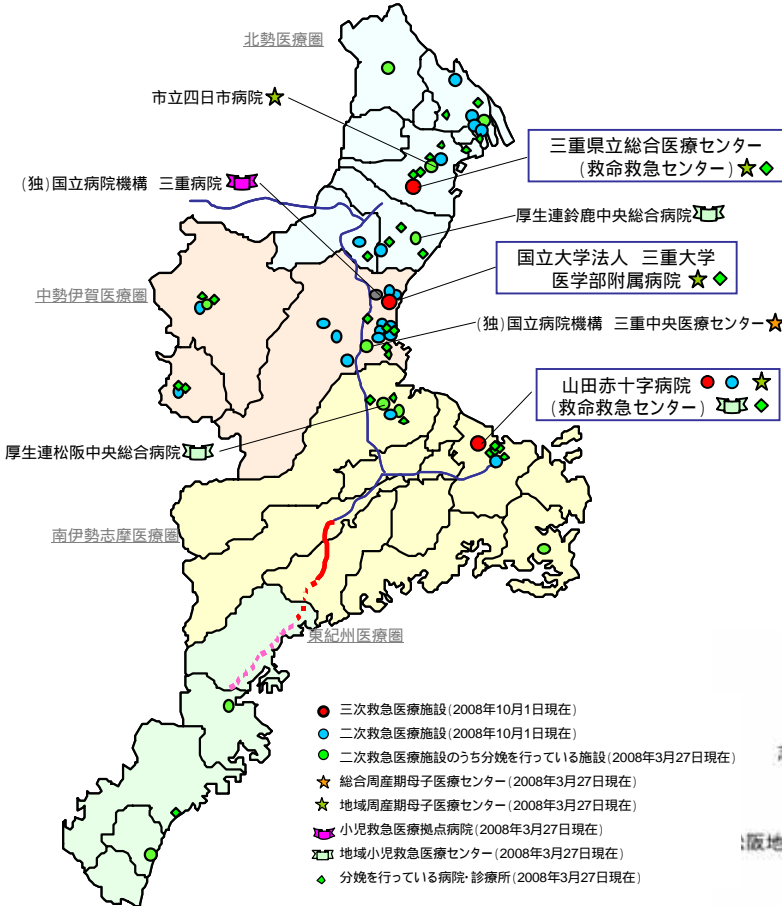
# 救急医療体制(医療施設までの搬送時間短縮)を支援します。

大紀町から高度医療設備を有する病院までの所要時間が約15分短縮され、紀勢自動車道の延伸は“命の道”として、延伸区間沿線や東紀州地域の救急医療体制を支援します。

開通区間の沿線地域や東紀州地域では、救命救急センター等の拠点施設が少なく、救急活動における病院までの収容時間が他地域と比較して長い傾向にあります。

[救命救急センター、周産期・小児科医療拠点、分娩施設の分布]

[医療の現状]

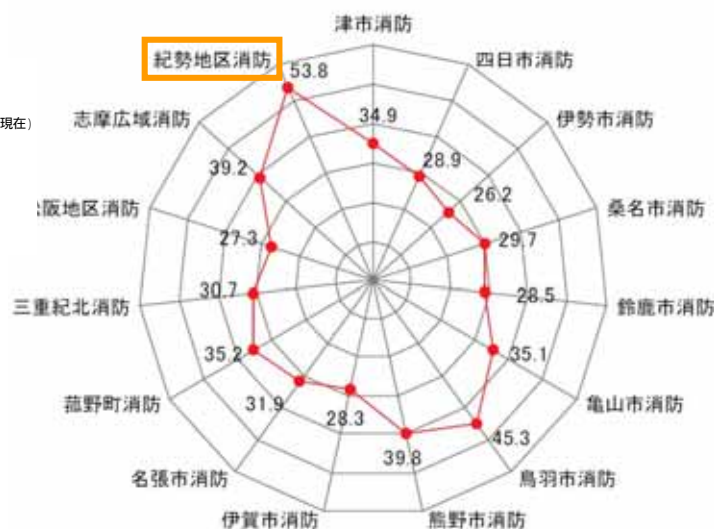


<脳卒中医療体制>  
 ・南伊勢志摩医療圏の南部、東紀州医療圏では、急性期における地域の医療連携体制の構築、専門科医の確保、隣県との医療体制の構築を行なう必要があります。

<周産期医療体制>  
 ・リスクを伴う分娩に関して、周産期医療を実施する施設は集約化、重点化され機能分担が確立されています。  
 ・南伊勢志摩、東紀州医療圏は、地域の医療センターから距離があります。

<小児医療体制>  
 ・南伊勢志摩、東紀州医療圏の近くでは、小児医療拠点病院が未整備です。  
 ・入院を必要とする重症の場合、離れた地域で治療を行なう必要があります。

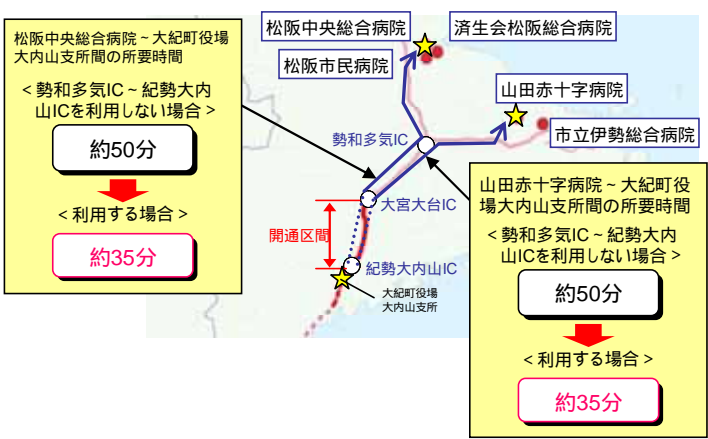
[消防本部別の収容時間の状況(2006年)]



収容時間: 119番の覚知から病院収容までの時間  
 出典: 2006年版救急救助実施状況調

出典: 三重県保健医療計画(第四次改訂)をもとに作成

[紀勢自動車道沿線地域の主な緊急搬送ルート]



出典: NEXCO中日本資料「紀勢自動車道の開通に関するヒアリング調査(2008年10月)をもとに作成

所要時間の算定: 高速道路は緊急車両の制限速度, 一般道は道路時刻表から得られる速度に割増をして算定

## 地域の声

対面通行のリスク(高速の事故通行止め等)から、緊急搬送時に紀勢自動車道を利用することに躊躇いがありました。今後は、紀勢自動車道の延伸もあり、国道の交通事故リスクや地元住民からの要望等を考慮すると、必要に応じて紀勢自動車道を活用した緊急搬送を行なう方針になっています。(消防関係者)

## 4-1 環境保全に貢献します。

紀勢自動車道の開通による交通転換で、走行環境が改善されることにより、CO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>、SPMの排出量が削減され、地球温暖化防止など大気環境の改善に貢献します。

CO<sub>2</sub> (二酸化炭素) 排出量の削減  
森林約698haの二酸化炭素吸収量に相当  
賢島の面積 (約66ha) の約11倍

CO<sub>2</sub> 削減量  
年間 7,400トン



× 約11倍

森林のCO<sub>2</sub>吸収を10.6t-CO<sub>2</sub>/ha・年と換算  
(出典: IPCC土地利用,土地利用変化および林業に関する優良手法指針)

NO<sub>x</sub> (窒素酸化物) 排出量の削減  
大型車約19万台の年間排出量に相当

NO<sub>x</sub> 削減量  
年間 22トン



約19万台

大型車が40km/hで平均走行距離(約26km)を走行した場合に排出するNO<sub>x</sub>量に換算(4.4g/km・台)  
(出典: 高速道路便覧2007, 2005年度道路政策評価通達集)

SPM (浮遊粒子状物質) 排出量の削減  
ペットボトル約1.2万本に相当

SPM削減量  
年間 1.2トン



約1.2万本

500mlペットボトル1本はSPM約100gとして換算

客観的評価指標の定量的評価指標の算出方法について(案)2003年11月, 国土交通省に基づき算定。  
現況の道路ネットワークをもとに紀勢自動車道 大宮大台IC ~ 紀勢大内山IC間が開通したものと仮定し算定。

## 4-2

## 環境保全に貢献します。

高速道路の建設事業を進めるにあたっては、人と自然、地球にやさしい道路環境の形成に積極的に取り組んでいます。  
紀勢自動車道においても、盛土のり面の樹林化や現地発生材等の有効活用、太陽光発電などの環境保全に努めています。

### 盛土のり面の樹林化



周辺樹林より種子を採取・育成し、盛土のり面に植樹して周辺地域に調和した自然回復(樹林化)に取り組んでいます。

### 省エネルギーへの取り組み



太陽光発電システムを導入し、主にお手洗い棟の照明用電源として活用しています。

### 資源のリサイクルの推進

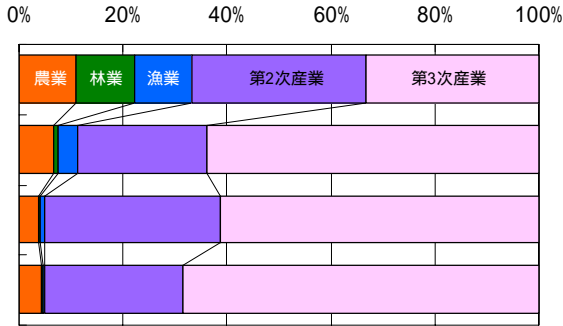


地域で発生したアコヤ貝の貝殻や高速道路の建設で発生する石などを積極的に利用し、有効活用を図っています。

東紀州地域は第1次産業が盛んで、このうち漁業は三重県内に占める漁獲量の割合が大きく、食料品製造業の出荷額の割合も高い地域です。紀勢自動車道の延伸は、鮮魚加工品の営業圏の拡大など延伸区間周辺や東紀州地域の産業を支援します。

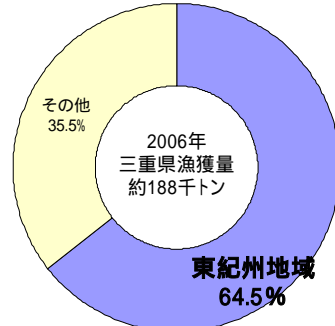
東紀州地域の産業特性

[産業別にみた就業者の割合]



出典: 2005年国勢調査

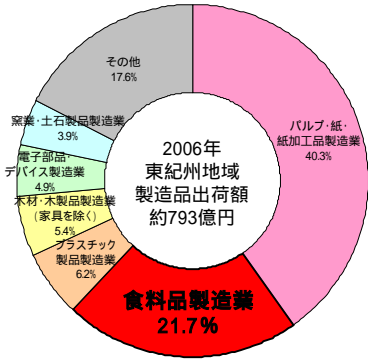
[漁獲量の三重県全体に占める割合]



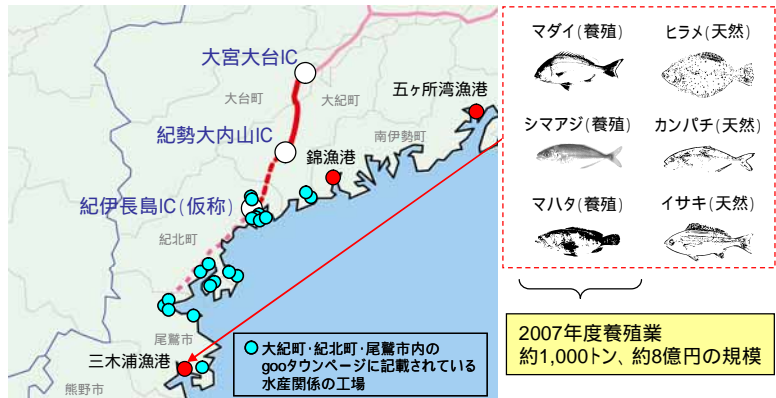
出典: 2006年海面漁業生産統計調査

東紀州地域では価値の高い魚が獲れ、水産関係の工場も多い

[製造業の内訳]



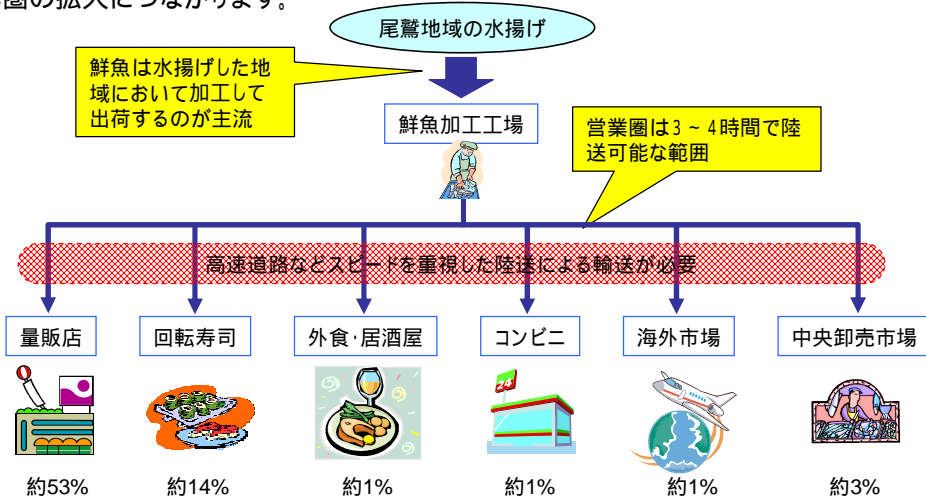
出典: 2006年工業統計



出典: NEXCO中日本資料「紀勢自動車道の開通に関するヒアリング調査(2008年10月)」

鮮魚加工品の流通例

時間短縮は営業圏の拡大につながります。



出典: NEXCO中日本資料「紀勢自動車道の開通に関するヒアリング調査(2008年10月)」

地域の声

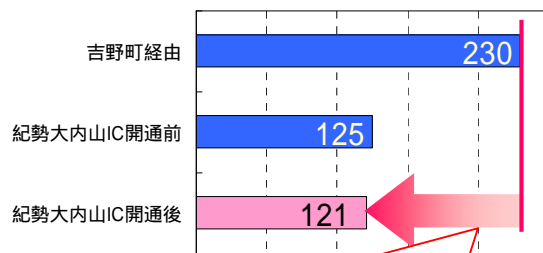
松阪、津、四日市などへ営業活動をしており、紀勢自動車道開通前は1日で行くことが出来る範囲が限られていましたが、開通すれば営業範囲を増やすことができます。前日に注文を受け付けるため、配送時間が短縮されれば、注文締切時間を遅らせることができ、サービス向上が図れます。営業圏は3~4時間で陸送可能な範囲に限られるため、高速道路の延伸は営業圏の拡大に欠かせません。活魚輸送においては鮮度が命であるので、早ければ早いほどおいしいお魚をお届けできます。紀勢大内山ICから2分くらいの場所に、民間の土地を利用して、電子製品製造業が新しく立地することが決まりました。

東紀州地域で獲れた鮮魚を東京（築地市場）等に運んでおり、鮮度が命である活魚輸送では、これまでも紀勢自動車道を含めた高速道路を積極的に利用されています。紀勢自動車道の延伸は、延伸区間周辺や東紀州地域の物流を支援します。

国道42号が通行止めになると輸送に多大な時間を要しています。紀勢自動車道の延伸で開通並行区間で通行止めが発生しても大きな迂回の必要がなくなります。

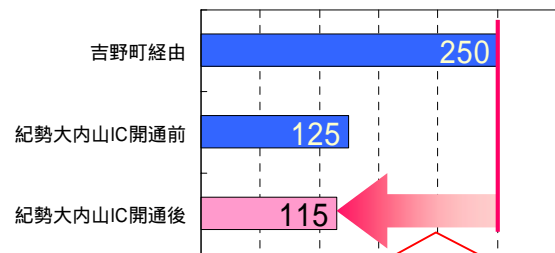
A漁協組合の場合

尾鷲港～亀山JCT間の距離(km) <sup>1</sup>



吉野町経由に比べて約109kmの短縮

尾鷲港～亀山JCT間の所要時間(分) <sup>1</sup>



吉野町経由に比べて約2時間15分の短縮



大宮大台IC～紀勢大内山ICまでの国道42号の区間において通行止であった場合を想定  
所要時間の算定: 高速道路の規制速度及び道路時刻表(07～08)をもとに算出

### 地域の声

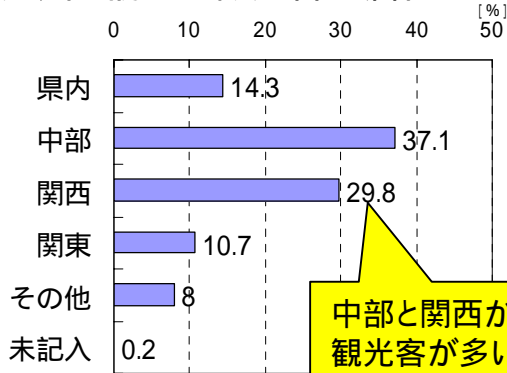
鮮度が命である活魚輸送においては積極的に紀勢自動車道を含めた高速道路を利用しています。国道42号が通行止めの場合には、やむを得ず奈良県吉野町経由のルートで出荷しているが、かなりの時間増となります。紀勢自動車道が延伸されれば、県庁や県漁連への出張が楽になります。

# 7.1

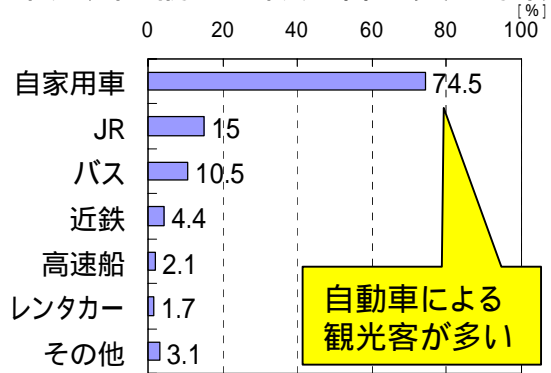
## 東紀州地域への観光を支援します。

東紀州地域へは「中部」や「関西」から自動車で訪れる方が多く見られます。紀勢自動車道の延伸によって、延伸区間周辺や東紀州地域への観光客の増加が期待されます。

東紀州を訪れる観光客の居住地



東紀州を訪れる観光客の交通手段



出典：三重県「平成19年度三重県観光データ・観光客満足度評価調査事業報告書」2008年3月

### 様々な観光資源が点在する東紀州地域



出典：東海南海交流会議事務局HPより作成



交通アクセスの向上により、東紀州地域を中心に新たな旅行企画がされてきています。利用者の周遊観光への期待も高く、紀勢自動車道の延伸により東紀州地域への観光客の増加が期待されます。

東紀州地域への新たな旅行企画による観光客増加への期待

大阪の旅行会社によって、京都発の東紀州地域への新たなバスツアーが企画されています。また、九州の旅行会社においても新幹線で京都まで訪れ、その後高速バスを利用した観光ツアーが企画されています。

A社では、全国各地からセントレアまで航空機を利用し、1日目は名古屋に泊まり名古屋観光、翌日、シャトルバスで熊野古道に行き、鳥羽に宿泊するプランがあります。利用客は増加しており好評を得ています。

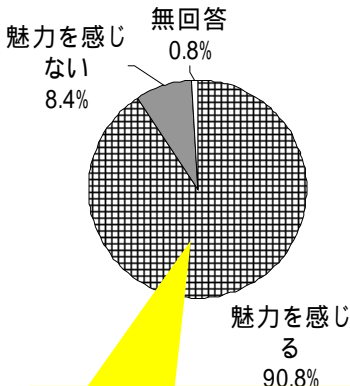


出典：NEXCO中日本資料「紀勢自動車道の開通に関するヒアリング調査(2008年10月)」

周遊観光への期待

[東紀州地域の観光資源に対する魅力]

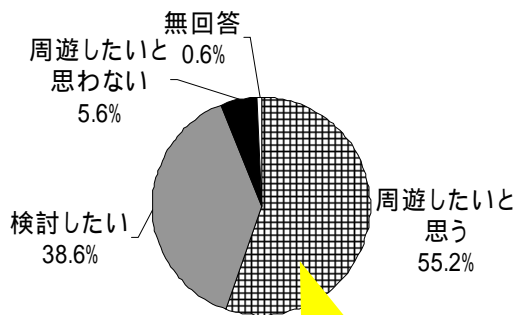
(単一選択方式) n = 3,002



東紀州地域に魅力を感じる人が9割

[東紀州地域と伊勢志摩地域の観光地の周遊観光の可能性]

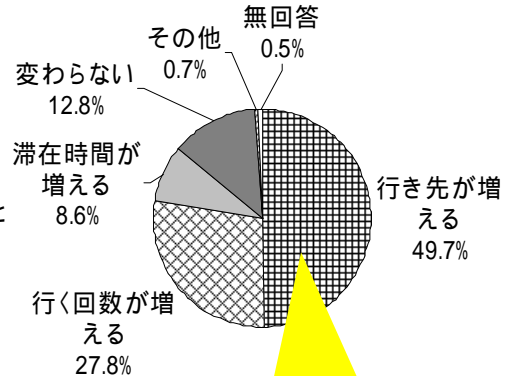
(単一選択方式) n = 3,002



伊勢志摩地域と東紀州地域を周遊したいと思う人が半数以上

[紀勢大内山ICまで開通した場合の観光に対する行動の変化]

(単一選択方式) n = 3,002



紀勢自動車道の開通によって東紀州地域内の行き先が増えるとした人が約半数

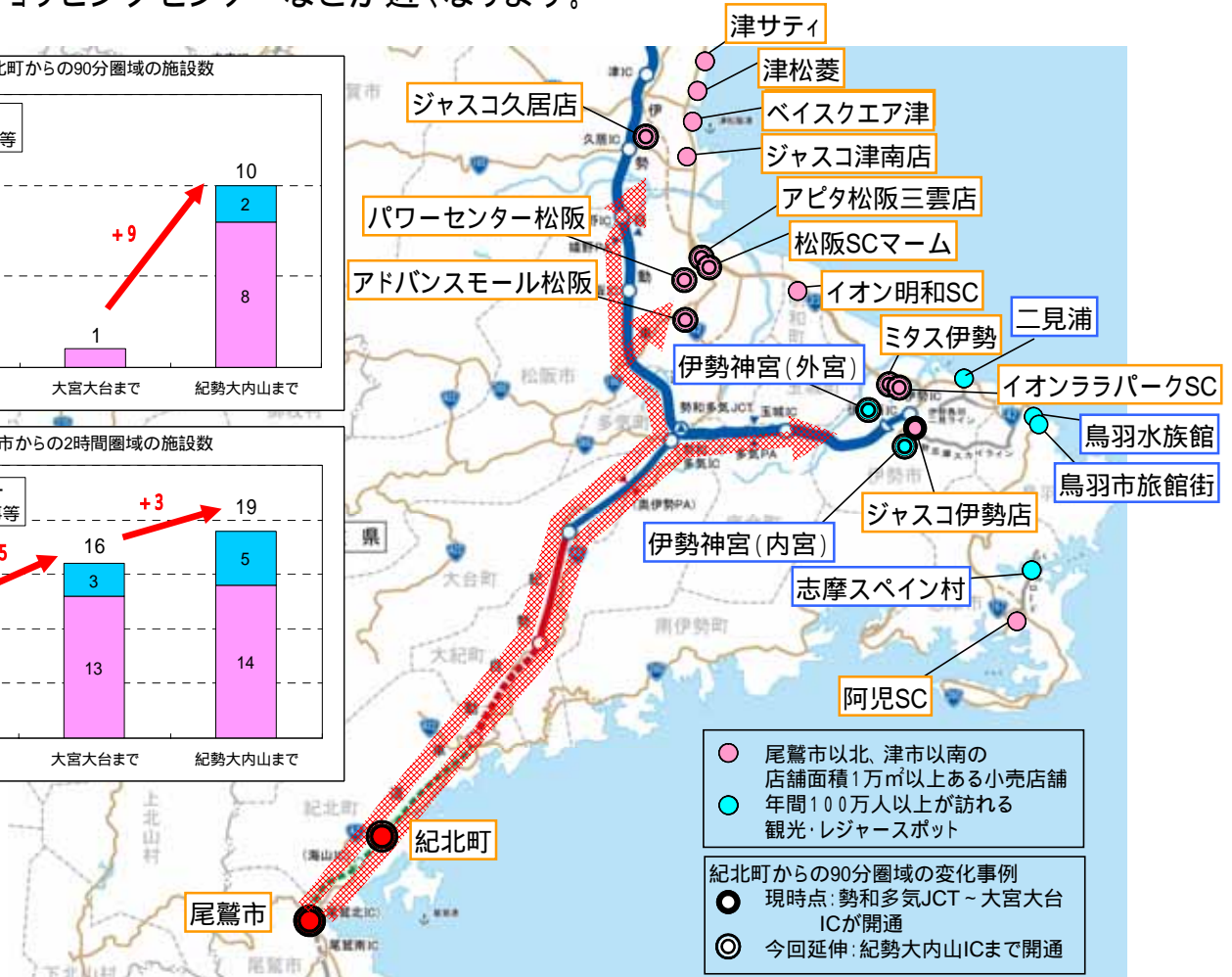
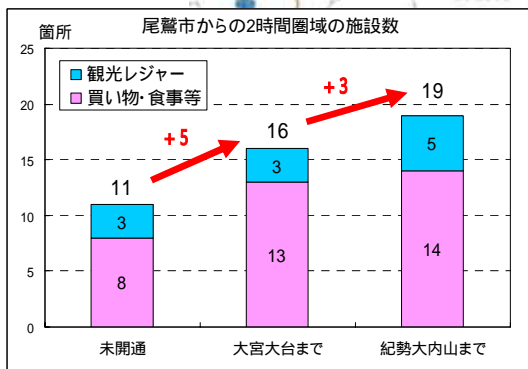
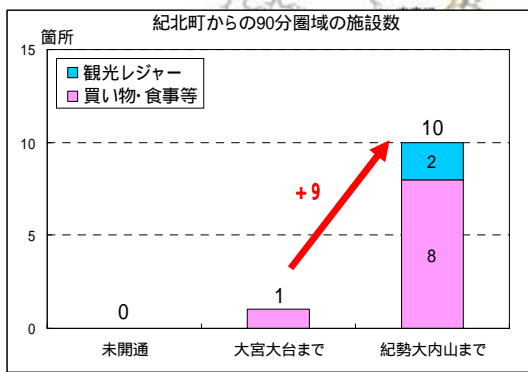
出典：NEXCO中日本資料「紀勢自動車道の開通に関するアンケート調査(2008年9月)」

# 8-1

## 東紀州地域の生活圏域が拡大します。

紀勢自動車道の延伸により、紀北町からの90分圏域や尾鷲市からの2時間圏域に含まれる施設(大型ショッピングセンターや年間100万人以上が訪れる観光レジャースポット)が増加するなど、生活圏域の拡大が期待されます。

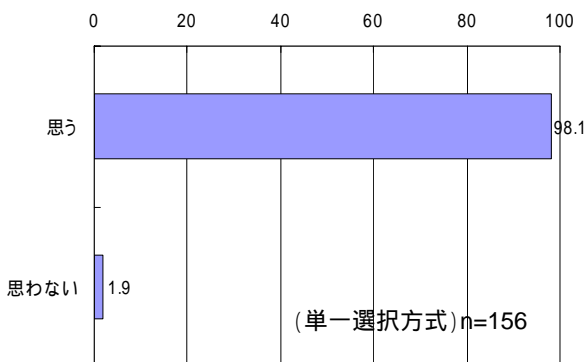
大型ショッピングセンターなどが近くなります。



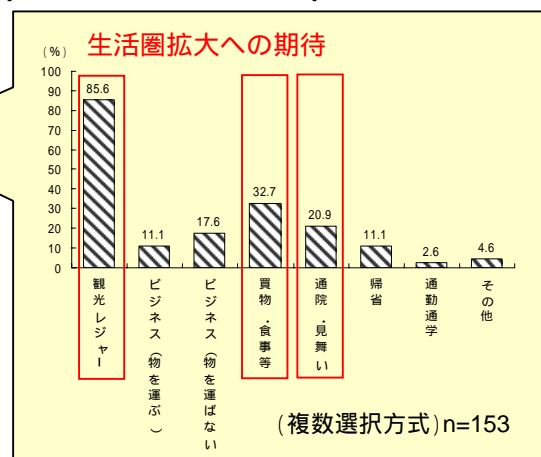
所要時間の算定: 高速道路の規制速度及び道路時刻表(07 ~ 08)をもとに算出

沿線地域の方は、「観光レジャー」のほか買い物・食事、通院・見舞いなどで紀勢自動車道を利用したいと思っています。

[紀勢大内山ICまで開通した際の紀勢自動車道の利用意向(沿線地域の方)]



[紀勢自動車道の利用目的]



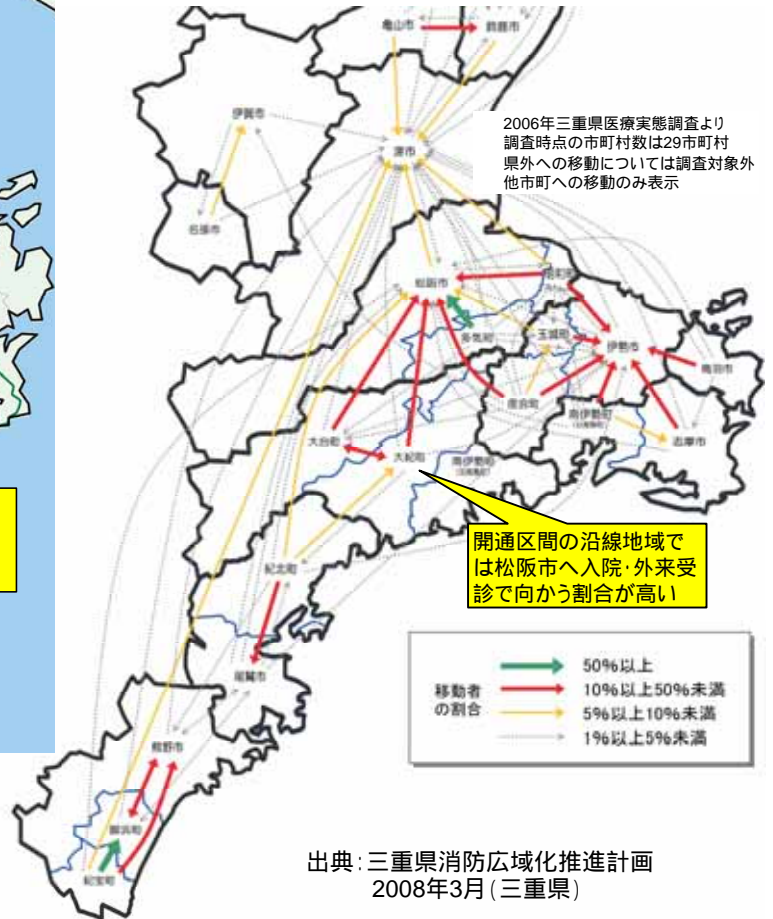
大紀町及び紀北町から松阪・伊勢方面に通勤・通学、病院へ通院をしている方がみられ、紀勢自動車道の延伸により、一層の利便性向上が期待されます。

松阪・伊勢方面の通勤・通学状況及び通院状況

[大紀町及び紀北町から松阪・伊勢方面への通勤・通学の状況]



[患者住所別他市町への受療動向(稼動率)]

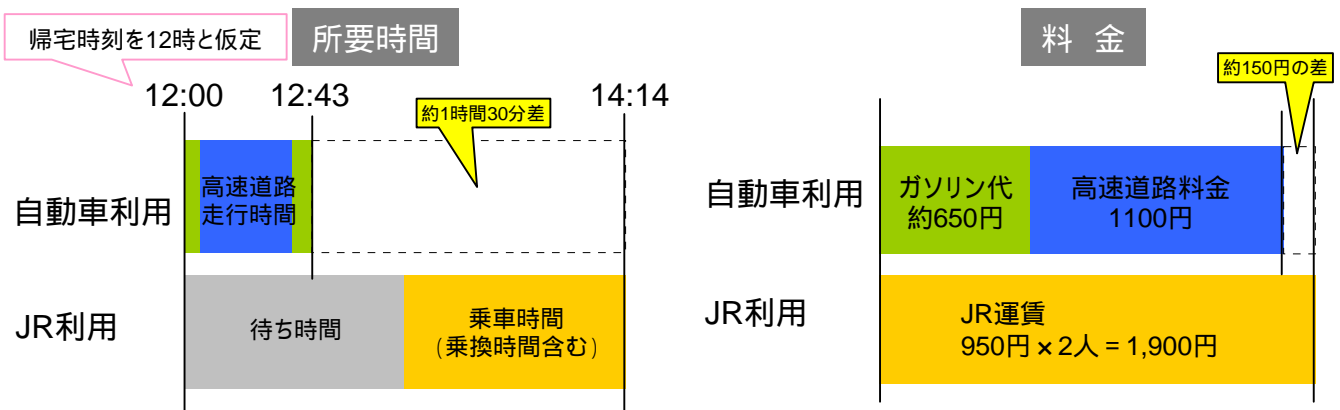


出典 2005年国勢調査「第6巻」三重県

地域の声

勢和多気JCTから大宮大台ICまで開通した際、(テスト期間中や急病などで)松阪へ通学している子供を迎えにいくときは、JR・バスを乗り継ぐよりも、紀勢自動車道を利用すれば1時間程度短縮したと感じます。大変便利になりました。(地元行政担当者)

早くて安い自動車利用(自動車とJRの比較:JR松阪駅~JR大内山駅間の場合)

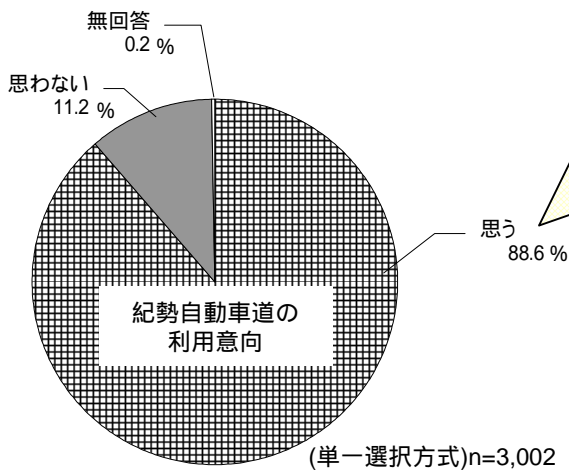


所要時間の算定: 高速道路の規制速度及び道路時刻表(07~08)をもとに算出  
JR利用は、JR時刻表(08.11)をもとに算出

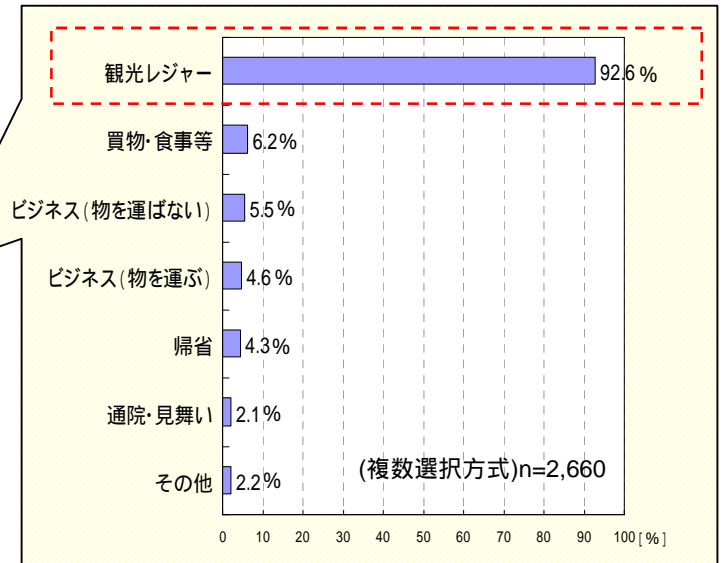
紀勢自動車道周辺のSA・PAや道の駅でアンケート調査を実施したところ、約9割の方が東紀州地域を訪れる際、紀勢自動車道を利用したいと回答されています。特に紀勢自動車道の延伸は、東紀州地域の観光の行動範囲の拡大などに期待されています。

東紀州地域を訪れる際、約9割の人が紀勢大内山ICを利用したいと回答し、そのうち、観光レジャーでの利用意向が約9割以上を占めています。

[紀勢大内山ICまで開通した際の紀勢自動車道の利用意向]



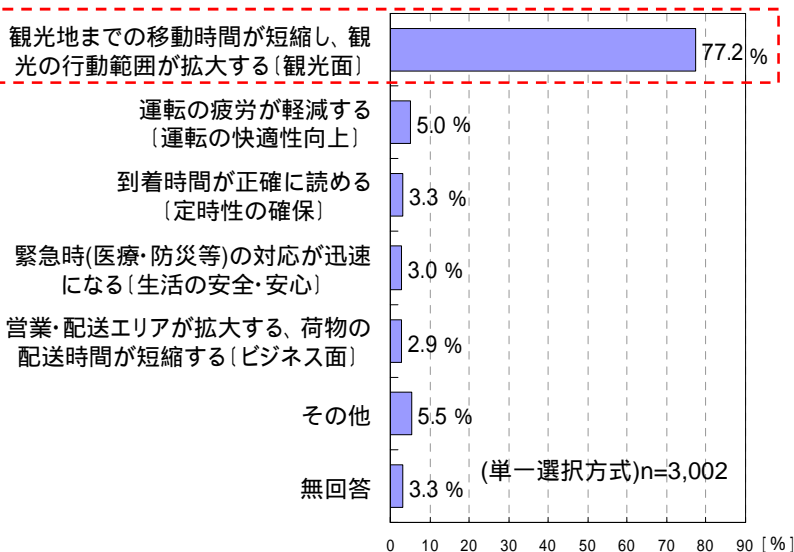
[紀勢自動車道の利用目的]



出典 NEXCO中日本資料「紀勢自動車道開通に関するアンケート(2008年9月)」

観光の行動範囲拡大への期待が約8割と非常に高い状況です。

[紀勢自動車道の整備に対して特に期待する事項]



出典 NEXCO中日本資料「紀勢自動車道開通に関するアンケート(2008年9月)」

## 期待の声

- ・延伸すると、色々な観光地に行く機会が増えます。(安濃SAのお客様)
- ・串本まで本当に遠かったので、少しでもつながると助かります。(道の駅のお客様)
- ・磯釣りに良く行くので延伸を心待ちにしています。(御在所SAのお客様)
- ・熊野の花火に行きやすくなるので、早く整備して欲しいです。(土山SAのお客様)
- ・三重県外に旅行にいくと、帰りの道のりを考えるとぞっとします。尾鷲までの早期の開通を期待します。(尾鷲市在住の方)
- ・開通すれば旅行の幅が広がります。(亀山PAのお客様)